

～「道内研修会」と「勉強会」を開催しました～  
北海道胆振東部地震の発生からその後について

## 1. はじめに

防災委員会 都市部会では、2018(平成30)年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の被災地状況を視察し、同時に各復旧事業を担当されている方々から直接お話を伺うことを目的として研修会を企画し、2019(令和元)年7月24日に開催しました。また、同年9月10日には、地盤工学を専門とする北海道大学大学院工学研究院の磯部 公一准教授をお招きし、都市部会勉強会を開催しました。

磯部先生は、北海道胆振東部地震をはじめ、道内外の大規模地震・豪雨災害現場での調査研究でもご活躍されている研究者です。

本稿では紙面の都合、研修会に絞り報告します。

## 2. 道内研修会の実施概要

- 開催月日：2019(令和元)年7月24日(水)
- 参加者：都市部会メンバー+防災委員会 委員長 計17名(レンタカー3台に分乗)
- 視察対象(すべて 勇払郡厚真町)
  - (1)吉野地区 (2)富里地区 (3)幌内地区
  - (4)上幌内地区

視察に先立ち、開催当日の集合場所(厚幌ダム監督員詰所)において北海道室蘭建設管理部 佐藤災害復旧推進室長、矢野治水課長、塩田苫小牧出張所長より全体説明を頂きました。



写真-1 同行頂いた室蘭建設管理部 3氏からの全体説明

## (1)吉野地区の斜面崩壊

同地区は、道道上幌内早来停車場線沿いの斜面が約800mにわたり崩壊し、道路が崩壊土砂によって路盤ごと最大40m移動して決壊したものです。また、最も多くの人的被害があった地域です。

発災後に仮設道路を設けて交通は確保され、崩壊土砂や倒木の撤去は進んでいましたが、残留表土の除去、法枠などの斜面対策が今も多くの作業員や重機によって進められていました。

現地の土地利用を道路横断方向で見ると、斜面から道道の間に民家やビニールハウス等があり、道道から厚真川までの平坦地に水田・畑地が広がっています。幸いにも被災を免れた箇所では、視察の際もビニールハウスの補修作業を続ける方々の姿も見られました。このように、地域の方々の暮らしと産業を一体的に担う同地区では、今後も大幅に土地利用の変更を強いることは出来ず、しっかりとした斜面対策工などによる安心できる生活空間の回復が肝要と感じました。



写真-2 吉野地区の復旧作業状況(仮設道路沿いから撮影)

## (2)富里地区「富里浄水場」の施設破損

地震発生のわずか1ヶ月前に完成したばかりの富里浄水場は、厚真町全域にわたる約3,900人の給

水人口を擁する町の重要施設です。

ここでは、厚真町役場建設課 佐藤参事に被災時状況や今後の復旧事業計画などを解説頂きました。

吉野地区と同様、ここでも近接する斜面からの崩壊土砂が配水池の階段塔を直撃・倒壊させたほか、町内全域の配水管が損傷する等、広範囲にわたり多くの被害を受けたとのことでした。

幸いにも地震発生時は旧浄水場の解体前であったため、この再稼働により配水を行っているものの、一日も早い各施設の完全復旧が望まれています。



写真-3 階段が引き剥がされた配水池などを視察

### (3) 幌内地区「日高幌内川」の河道閉塞

厚真町内で昼食をとった後、幌内地区の日高幌内川の大規模河道閉塞現場(幅約400m、長さ約800mの尾根が約350m崩落)を視察しました。



写真-4 河道閉塞の発生状況(北海道開発局 提供資料)



写真-5 造成された盛土上での説明状況

ここでは、北海道開発局室蘭開発建設部 久保厚真川水系砂防事業所長に先導頂き、崩壊土による自然ダム、掘削・盛土、水路工、土砂運搬路構築等の施工状況について解説頂きました。

### (4) 上幌内地区「厚幌ダム(厚真川)」

厚幌ダムは、北海道が施工・管理する日本でも3番目に完成した台形CSG形式の多目的ダム(洪水調節、河川環境の保全、水道・かんがい用水確保)です。

ここでは、北海道室蘭建設管理部 苫小牧出張所 杉本主幹(ダム復旧)に、ダム天端において被災状況などを解説頂きました。

地震による堤体の損傷はほぼ無かったものの、上流の厚真ダム(直轄農業ダム)では余水吐が埋塞し、また、貯水池やこれに流入する河川では、数多くの土砂崩落被害を受けたとのことでした。

そのため、二次被害防止に向けた段階的かつ計画的な対応が急がれています。



写真-6 視察を終え、北海道室蘭建設管理部の3氏を交えた参加者全員で記念撮影

## 3. おわりに

本稿で報告した道内研修会では、北海道による代行事業、北海道開発局の直轄砂防事業など、行政どうしが密に連携して工事が進められている様子を実感できる非常に良い機会となりました。

今後も、適切かつ迅速な事業進捗により、地域の方々の安全と被災地の一日も早い復興を参加者一同、切に願いつつ研修会を終えた次第です。

最後となりますが、研修会の開催に際しては北海道開発局・北海道・厚真町の皆様に、事前調整から当日現地に同行頂き、案内および説明等、多大なる御協力を賜りましたことを感謝申し上げます。